

文部科学省「革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ (HPCI) の構築」
HPCI 戦略プログラム 分野2 「新物質・エネルギー創成」
計算物質科学イニシアティブ (CMSI)
計算分子科学研究拠点 (TCGI) 第7回運営委員会議事概要

日時：2013年1月24日(木) 11:00~12:30

場所：大阪大学中之島センター 9階 会議室2

参加：高塚、岡崎、榊、山下、兵頭、長岡、田中、斉藤、江原、事務局(石谷)

議事

I. 前回議事録、議事概要の確認

資料1、資料2

○原案通り承認した。

II. 報告事項

1) H24年度第2回CMSI運営委員会(1/15)について

資料3、資料12

○以下の報告があった。来年度予算については、産業、実験化学者との共同研究費、人件費に掛かる消費税相当額分の増額を要求したが、認められなかった。消費税相当額は、H26年度予算で考慮される見込み。産業との共同研究費については、産学連携小委員会の産業利用促進費に申請して欲しいという回答があった。→実績・現状を確認するためアンケート調査を行う。

○人材教育については、従来の人材教育小委員会の予算が、分子研に配布されることになった。来年度は、超並列化技術国際ワークショップを除いて、分子研で予算を執行する。

○資料12のJSTワークショップ(2/11)については、山下委員が参加することになった。

2) H24年度第1回CMSI運営委員会(12/3)について

資料4

○基盤ソフト維持・普及のための予算(資料4のP98)は、H25年度の概算要求としては消滅したが、予算額は減って、H24年度の補正予算として復活した。また、この補正予算は、H25年度に繰り越しができるとの報告があった。

3) H24年度第3回CMSI企画室会議(12/5)について

資料5

4) 第11回理研連携推進会議(1/22)について

資料6

○HPC Summer School(資料6のP.9)について、連携推進会議では、各戦略分野2名程度の推薦依頼があったとの報告があった。CMSIで考えると、分子科学として1名となるかもしれないが、2名応募でもよいのではないとの意見があった。募集そのものは、TCGI参加者全員に知らせることになった。

○京シンポジウム2013(資料6のP.13)について、5月下旬(1日)に開催される予定。今年は、主に一般の方を対象に京の成果をアピールする機会とすることを理研では検討している。講演枠としては、分野、優先課題、グランドチャレンジがある。具体的な依頼が来た段階で、必要があればメールで相談することとした。

5) 将来のHPCIシステム(エクサFS)について

サイエンスロードマップ案

資料7

日本化学会年会特別企画

資料8

○これから概要版を作成する状況との話があった。

6) ナノ統合ソフトの展開: FOCUS

○今年度は、modylasとermodをFOCUSへインストールすることになったとの報告があった。

Ⅲ. 特別支援研究員の任期と雇用継続・交代について

1) H24 臨時人事検討委員会

資料 9

○拠点長の諮問機関として臨時人事検討委員会の設置が提案され、承認した。

2) 分子研雇用者の H25 年度雇用継続の確認 (1 月末)

資料 10

Ⅳ. 平成 24 年度活動計画・実施状況

1) シンポジウム、研究会

2) 教育・人材育成

3) 広報

4) 社会連携

5) スパコン連携

資料 11

○H25 年度の申請状況について報告があった。

6) 資源提供

7) 各部会

Ⅴ. その他

○H25 年度の行事について、今年度と同様に実施すること、また、第 4 回研究会については、これから京を使いたい人を、分野外の人も含めて招待して話を聴くことが提案され、承認した。

Ⅵ. 今後の予定

01/24(木)13:30 TCCI 第 2 回産学連携シンポジウム @阪大 中之島センター

01/28(月)10:20 超並列化技術国際ワークショップ @早大理工

03/05(火)11:00 第 1 回計算科学“見える化”シンポジウム @秋葉原 UDX 4 階

03/11(月)10:00 GC 公開シンポジウム @東大山上会館

03/25(月)13:30 日本化学第 93 春季年会特別企画「超巨大計算機時代の化学」
@立命館大びわこ・くさつキャンパス

以 上